

令和8年度 業務計画書

[こども劇場課]

1. 運営基本方針（第5期指定管理）

『豊かな子ども文化に彩られた未来創造のまち・さっぽろ』

札幌市こども人形劇場は、「人形劇、児童劇等の制作及び発表と制作団体の育成を通じて、青少年の情操のかん養を図り、もってその健全な育成その他の活動に資すること」（札幌市こども劇場条例）を目的として設置された施設である。

全国的にも数少ない子どものための専門劇場として、「子ども文化」を育むことで生み出される人と人のつながりにより、こころ豊かな未来を描くことができる、地域の文化拠点を目指す。

2. 事業方針

子どものための専門劇場として、未来を担う子どもたちが文化芸術にふれることで情操豊かに育つことに加え、それを支える市民劇団を育成する中で醸成される地域コミュニティ創造を目指す事業を積極的に展開する。

市民の興味関心を引き出して誰もが創造者となり得る環境をつくり、劇場がハブとなって人材価値を高め、新たな可能性を生み出していく。また、これまで継続してきた人材育成や共生社会構築に向けた事業展開、アウトリーチ事業などの成果を広く発信することに注力し新たな協働や連携により事業の幅を拡げていく。

あわせて、こぐま座が立地する中島公園の再整備を機会ととらえ、その情報収集や動向を注視しながら、中島児童会館や中島公園、地域団体と連携した実績を重ねていく。

3. 重点事業

児童文化の普及及び子どもの健全育成のための公演・講座等の実施

- ①こぐま座50周年記念事業
- ②インクルーシブ公演
- ③人形劇スキルアップ講座

4. 数値目

標

【共通】

- ①利用者総数 95,000人（やまびこ座57,000人、こぐま座38,000人）
※令和7年度 95,000人（やまびこ座57,000人、こぐま座38,000人見込）
- ②事業プログラム参加者総数 33,000人
※令和7年度 33,000人（見込）
- ③利用者アンケートにおける満足度98.0%
※令和7年度 98.8%（見込）

【部門】

- ①新規人形劇団の誕生及び育成 3劇団
※令和7年度 7劇団
- ②年間上演日数及び公演数 上演日数240日 公演数400回
※令和7年度 上演日数267日 公演数413回（見込）

5. 事業実施計画書

(地域活動等事業)

ア 子ども文化の創造と発信による新たな可能性

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
1	広域文化支援ネットワーク形成事業	【目的】 (一社) アートブリッジコミュニティ、劇団、他団体との協働により、社会のニーズに応じたさまざまな事業を企画立案し、実施に向けて広域に支援するネットワークを拡大し、劇場事業の持続的成長につなげることを目的とする。 【内容】 ・北海道内外での人形劇等に関する相談業務、講師派遣 ・ 舞台照明・音響、人形劇等の制作、人形劇の人材育成指導者の育成 ・ 舞台体験プログラムの企画・実施（人形劇、人形浄瑠璃等） ・ あそびを通じた交流広場の企画・実施 ・ 災害時等における被災地支援、チャリティー公演等の企画・実施 【対象】 設定内容による 【人数】 設定内容による	【R7年度実績予測】	
			4月～3月	10件
			【R8年度】	
			4月～3月	10件
2	物品販売事業	【目的】 公演時に販売を行うことで、公演の集客、活性化を図る。 【内容】 ①手作り製品（ハンドパペット等）やオリジナル商品の販売（やまびこ座・こぐま座）②自動販売機の設置及び飲料販売（やまびこ座） 【対象】 幼児～一般	【R7年度実績予測】	
			4月～3月	—
			【R8年度】	
			4月～3月	—
3	活動協会連携事業	【目的】 こども若者事業部内および活動協会内で連携することにより、各課の強みや資源を有効活用し、人材育成等より効果的な取り組みを進める。 【内容】 部内連携および他課連携事業 【対象】 幼児～一般	【R7年度実績予測】	
			通年	3回
			【R8年度】	
			通年	3回

(施設運営等事業)

(1) 児童文化の普及及び子どもの健全育成のための公演・展示会・講座等の開催に関する業務

ア 公演事業

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
1	子どものための 人形劇・児童劇 公演	【目的】 より質の高い人形劇や児童劇の作品を市民に提供する。 【内容】 札幌市内のアマチュア劇団、北海道内外の専門劇団等による人形劇及び児童劇等の公演を行う。 【対象】 幼児～一般 【人数】 設定内容による	【R7年度実績予測】	
			通年	やまびこ座 200st こぐま座 202st
			【R8年度】	
			通年	やまびこ座 200st こぐま座 200st
2	こぐま座50周年 記念事業 World Children's Puppet Camp in Sapporo (人形 劇キャンプ)	【目的】 子どもたちの健やかな成長と平和的な国際交流を実現するため、共同制作を行う。こぐま座の存在価値を広く伝える機会とし未来における人形劇文化の発展を目指す。 【内容】 世界7カ国の子どもたちと、相互理解や文化的多様性をテーマとした作品を創造し世界に発信する。①人形劇キャンプ ②グローバルパペットフォーラム ③共同制作作品野外公演(発表会) 【対象】 各国のこども／こぐま座・やまびこ座で活動を行う劇団、こども／児童会館人形劇クラブ 他 【人数】 キャンプ参加者：70名／観劇者600名	【R7年度実績予測】	
			—	—
			【R8年度】	
			7月	①1回(3日) ②1回 ③2回
3	こぐま座50周年 記念事業 韓国 Art Stage SUN 招へい公演 (北海道ツ アー)	【目的】 海外の良質な人形劇作品を招へいし、子どもから大人まで豊かな観劇機会を提供する。 【内容】 やまびこ座・こぐま座芸術監督推薦作品として、韓国の劇団「Art Stage SAN」の代表作「ダルレの物語」を道内3カ所で上演。①人形劇上演 ②ワークショップ 【対象】 小学生～大人 【人数】 600名(砂川1st／中札内2st／札幌3st)	【R7年度実績予測】	
			—	—
			【R8年度】	
			9月	①道内3ヶ所 6公演 ②1回
4	こぐま座50周年 記念事業 世界こども人形 劇フェスティバ ル(記念公演)	【目的】 半世紀を迎えるこぐま座の存在価値を市民の方々に知ってもらう機会として、2026年4月から8カ月間にわたり記念フェスティバルを開催する。 【内容】 ①こぐま座50周年プレ企画公演②こぐま座&日本ウニマ企画③世界こども人形劇フェスティバル④(夏の特別公演・企画公演・秋の特別公演)⑤体験ワークショップ 【対象】 幼児～一般	【R7年度実績予測】	
			—	—
			【R8年度】	

		【人数】観劇者3,800名	4月～11月	①2st②2st ③4st④37st ⑤2回
5	やまびこ座プロデュース人形劇	【目的】北海道出身の世界的舞台芸術家と、札幌のアーティストの共演により、地域人材・表現者の育成につなげる。北海道に実在した「オホーツク文化」をモチーフに、北海道の歴史や文化への興味を引き出す。 【内容】①「OKHOTSK-終わりの楽園」②「沢則行ソロパフォーマンス公演 コウスギ2026夏」 【対象】幼児～一般 【人数】観劇者1,300名	【R7年度実績予測】	
			—	—
			【R8年度】	
	第55回札幌人形劇祭	【目的】人形劇のコンクール形式の連続公演を実施し、人形劇作品の質的向上・劇団活動のレベルアップ・公演活動の活性化につなげる。 【内容】①本祭：人形劇の連続公演（審査）のほか、経験者を対象とするワークショップ等を実施する。②受賞記念公演：各部門の最優秀賞・優秀賞受賞作品の公演を行う。 【対象】市内・道内で活動している人形劇団 【人数】大人部門、こども部門 各10劇団程度 観劇者500名	8月	①5st ②3st
			【R7年度実績予測】	
			①11月 ②1月	①5st ②1st
			【R8年度】	
			①11月 ②1月	①5st ②1st

イ 講座事業

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
1	初心者のための人形劇講座	【目的】札幌の人形劇の新しい担い手の育成を目的とし、劇場公演の活性化につなげる。 【内容】脚本・人形制作等の人形劇制作を学ぶ講座としてやまびこ座とこぐま座で時間帯を分けて開講する。最終回には合同で修了記念公演を実施する。 【対象】18歳以上 【人数】各10名	【R7年度実績予測】	
			4月～7月	15回
			【R8年度】	
			6月～9月	15回
2	経験者のための人形劇講座	【目的】やまびこ座・こぐま座で活動をする人形劇団が抱えている問題点、特に作品を創っていく上での質的、技術的な問題などを本講座で改善していきけるよう支援を行う。新作の制作、旧作のリニューアルを実施し、劇団のレベルアップ、自主公演等の活動の活性化を図る。 【内容】劇団ごとに目標を設定し、講師から指導・アドバイスを受けながら新作の製作、旧作のリニューアルなど人形劇創作を行う。完成した作品は	【R7年度実績予測】	
			6月～10月	16回
			【R8年度】	
			6月～10月	16回

		やまびこ座・こぐま座で上演を行う。 【対象】主にやまびこ座・こぐま座を拠点に活動を行う人形劇団 【人数】4～6劇団		
3	パペットカレッジ	【目的】若い世代の人形劇団を対象とし、継続した創作活動ができるよう支援する。人形劇の質的向上、次世代の担い手を育成する。 【内容】人形劇の基本を学び、脚本から製作、上演までの人形劇の作品創りを行う。 【対象】パペットユーススクールの卒業生を主とした若手人形劇団 【人数】4劇団程度	【R7年度実績予測】 6月～10月 16回	
			【R8年度】 6月～12月 20回	
4	人形浄瑠璃講習会・義太夫講習会	【目的】北海道ではなじみの少ない古典芸能に親しむ機会を市民に提供すると共に、札幌の文化を担う人材を育成する。 【内容】やまびこ座所蔵の浄瑠璃人形を用いて三人遣いの人形操作方法や人形浄瑠璃に欠かせない唄と三味線を学ぶ。①人形浄瑠璃講習会②義太夫講習会③レベルアップ講座 【対象】18歳以上（高校生不可） 【人数】①②15名 ③「三人遣い」「義太夫」の経験年数4年以上10名	【R7年度実績予測】 ①②5月～12月 ①18回 ②14回	
			【R8年度】 ①②5月～12月 ③10月 ①18回 ②14回 ③6回	
5	表現者のためのスキルアップワークショップ	【目的】こどものための良質な作品創造を目指すため、個々の表現者が自身の経験度合いとニーズによって選択できるスキルアップの機会を提供する。また、次世代の指導者となり得る人材を発掘し、札幌の舞台芸術に係る文化の継承と資質の向上を図る。 【内容】人形劇等の専門家を講師とし、人形美術、脚本、演出、操作、人形の構造等に関するワークショップを実施する。 【対象】人形劇経験者（経験は問わず） 【人数】設定内容による	【R7年度実績予測】 4月～10月 5プログラム	
			【R8年度】 5月～10月 5プログラム	

ウ 子どもの舞台表現活動の推進

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
1	こぐま座 こども人形劇団	【目的】異年齢集団による人形劇創作を通して、創ることの楽しさを体験するとともに、想像力や表現の可能性を広げることを目的とする。 【内容】グループ活動を通して、人形劇の製作から上演までの創作活動に取り組み、協働する力や表現力を育むとともに、創作の楽しさや演じる喜びを体験できるプログラムとする。成果発表として人形劇の公演を行う。 【対象】小学3～6年生 【人数】15名	【R7年度実績予測】	
			6月～3月	46回
			【R8年度】	
2	パペットユース スクール	【目的】人形劇制作を通して子どもたちの可能性を高め、創造性や自主性を養う。子どもたちが継続した活動を行えるよう支援し、将来の人形劇文化の担い手を育成する。 【内容】グループを形成して表現活動を通じた仲間づくりと人形劇制作に必要な技術等を学ぶ。 【対象】中・高校生 【人数】15名	【R7年度実績予測】	
			6月～3月	28回
			【R8年度】	
3	やまびこ座遊劇 舎	【目的】劇遊びおよび劇作りを通じて、表現活動の楽しさを体験し、参加者の豊かな情操を育むことを目的とする。 【内容】グループ活動を通じて、台本作りから上演までの創作過程を体験し、創作の楽しさや演じる喜びを感じるプログラムを実施する。最終回には、成果発表として公演を行う。 【対象】小学3～6年生 【人数】20名	【R7年度実績予測】	
			6月～1月	30回
			【R8年度】	
4	劇☆やまびこ座 YOUTH	【目的】表現活動を行う同世代の中学生・高校生との交流を通して、集団で表現することの楽しさや難しさを体験し、豊かな情操を育む。 【内容】演劇に関するワークショップやグループワークを行い、参加者同士が自由にアイデアを出し合いながら、創造的に作品づくりに取り組む。 【対象】中・高校生 【人数】20名	【R7年度実績予測】	
			6月～1月	34回
			【R8年度】	
5	ざ・にんぎょう じょうり ユースクラス	【目的】子どもたちの可能性を引き出す場とし、古典芸能の面白さを若い世代に伝え、将来の札幌の文化を担う人材を育成する。 【内容】やまびこ座所蔵の浄瑠璃人形を用いて三人遣いの人形操作方法や人形浄瑠璃に欠かせない唄と三味線を学ぶ。	【R7年度実績予測】	
			5月～12月	17回
			【R8年度】	

		【対象】 小学6年生 【人数】 15名	5月～12月	17回
6	児童会館人形劇クラブ育成事業	【目的】 劇場の専門性を生かし、児童会館の人形劇クラブの指導育成と一緒に取り組むことで、子どもたちの新たな可能性を引き出す。また、子どもたちの芸術鑑賞及び体験機会の拡充を目指す。 【内容】 ①児童会館人形劇クラブ育成指導②世界人形劇の日こども人形劇フェスティバル 【対象】 札幌市児童会館人形劇クラブ 【人数】 6館程度	【R7年度実績予測】	
			①5月～3月 ②3月	①各20回 ②2st
			【R8年度】	
			①5月～3月 ②3月	①各20回程度 ②2st
7	こども舞台体験プログラムふれアート	【目的】 子どもたちが気軽に文化に触れる機会を提供し、舞台芸術を身近なものとして親しみを持ってもらう。 【内容】 人形浄瑠璃体験、鳴物体験、舞台裏方体験&ミニ発表会 【対象】 設定内容による	【R7年度実績予測】	
			6月～10月	6回
			【R8年度】	
			5月～11月	6回

エ ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）の機能を有した文化芸術事業の拡充

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
1	障がい児との文化芸術推進事業 文化の扉をひらこう！	【目的】 障がいの有無に関わらず、誰もが豊かな体験機会や舞台芸術を享受できる社会を目指す。子どもの生き生きとした活動を通してソーシャルインクルージョンの理解につなげる。 【内容】 ①まぜこぜフェスティバル2026(インクルーシブ文化祭)②パペットアートヴィレッジ(舞台表現プログラム)③舞台体験ワークショップ 【対象】 ①幼児～大人(障害の有無・国籍等を問わず)②③小学生～高校生 【人数】 ①延べ1,300名 ②20名程度③30名程度	【R7年度実績予測】 ①10月 ②③6月～12月	①2日間 ②11回 ③3回
			【R8年度】 ①10月 ②③6月～1月	①2日間 ②13回 ③3回
2	バリアフリー公演	【目的】 より多くの市民に実演芸術を楽しんでいただく機会となることを目的として、人形劇、人形浄瑠璃、児童劇に対する観劇サポートを通年で行う。 【内容】 ①舞台手話付き人形劇公演②舞台手話付き児童劇公演③視覚障害者のための人形劇公演④乳幼児のためのオープン公演 【対象】 幼児～一般 観客数 2,000名	【R7年度実績予測】 9月～2月	全4回 11st
			【R8年度】 6月～3月	①9st②4st ③4st④4st
3	共に創り、共に楽しむ舞台体験事業	【目的】 人形劇の創作活動をとおして、参加者同士が協力しながら共通の目標を目指すことで、他者との交流を深め、のびのびと自己表現できる場とする。 【内容】 ①支援学級人形劇ワークショップ②学校適応指導教室人形劇ワークショップ 【対象】 札幌市内及び近郊の小学校、学校適応教室 【人数】 設定内容による	【R7年度実績予測】 6月～12月	①6回 ②7回
			【R8年度】 6月～12月	①②8回程度
4	インクルーシブ人形劇キャラバン隊～北海道巡回公演	【目的】 地域や家庭環境にかかわらず、すべての子どもたちに質の高い芸術体験を提供することを目的として、人形劇、人形浄瑠璃の道内巡回公演、参加型ワークショップを実施する。 【内容】 ①インクルーシブ巡回公演②人形劇道内巡回公演&ワークショップ③人形浄瑠璃道内巡回公演&ワークショップ 【対象】 北海道内（児童相談所、特別支援学校、児童デイサービス等） 【人数】 道内5カ所	【R7年度実績予測】 —	—
			【R8年度】 6月～12月	5st
5	さっぽろパペットシアタープロジェクト	【目的】 劇場がプロデュースし上演を行ってきた人形劇プログラムを、北海道各地域において上演することで、インクルーシブな舞台芸術による地域交流	【R7年度実績予測】	

	「北のおばけ箱」道内公演	を道内に広めていく。 【内容】ムーブアラウンド形式の舞台手話通訳を取り入れ、障がいの有無に関わらず共に生き生きと演じる人形劇作品を上演する。 【対象】幼児～大人 【人数】道内2カ所	—	—
			【R8年度】	
			10月	2st

オ 地域との共生および関係機関との連携

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
1	やまびこ座夏まつり	【目的】やまびこ座を利用する劇団や町内会等地域団体と協働で実行委員会を組織し、地域住民に向けたお祭りを実施して地域交流、地域貢献を図る。 【内容】人形劇・パフォーマーによる連続公演（ホール）、地域協力団体出展ブース、工作コーナー、ゲームコーナー、幼児コーナー他 【対象】幼児～一般 【人数】のべ5,000人	【R7年度実績予測】	
			8月	2日間
			【R8年度】	
2	アウトリーチ事業	【目的】劇場近隣の小学校と連携し、人形劇創作体験を通して子どもたちの想像力やものづくりへの興味を高める。 【内容】①人形劇体験ワークショップ（やまびこ座・こぐま座） 【対象】①元町北小学校3年生（やまびこ座）、資生館小学校4年生（こぐま座） 【人数】設定内容による	【R7年度実績予測】	
			5月～10月	各6回
			【R8年度】	
3	札幌劇場連絡会	【目的】劇場の発展を図り、舞台芸術の振興及び舞台芸術による地域振興に資することを目的とした「札幌劇場連絡会」へ継続して加入する。劇場間のネットワークを拡充し、各団体との協働によって様々な事業を実施する。 【内容】定例会（毎月1回）、「札幌劇場祭Theater Go Round」等の実施 【対象】札幌市内の公設・民設劇場 10劇場	【R7年度実績予測】	
			通年	月1回
			【R8年度】	
			通年	月1回

カ 展示室の活用、その他

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
1	企画展示	【目的】展示スペースを活用した企画展示を行うことで、劇場と地域、市民との出会い、交流の場を創出する。 【内容】事業の関係団体、地域の関係機関や企業等と協働で企画展示を行う。	【R7年度実績予測】	
			8月～1月	2回
			【R8年度】	

		【対象】 幼児～一般 【人数】 設定内容による	通年	3回
2	市民ボランティア事業	【目的】 事業等へのボランティア協力を依頼することで市民との出会いや交流を促進し、劇場の活動への理解と協力を深める。あわせて地域のボランティア人材発掘を進める。 【内容】 ①「読み語りの会」（やまびこ座）毎週水曜日に絵本や紙芝居等の読み聞かせを実施する。②「おはなしの会」（こぐま座）年20回、ボランティアによる絵本や紙芝居等の読み聞かせを実施する。③指人形制作（こぐま座）「人形劇スタンプラリー」でプレゼントする指人形を制作する。 【対象】 一般 【人数】 設定内容による	【R7年度実績予測】	
			通年	①42回 ②21回 ③12回
			【R8年度】	
3	人形劇観劇スタンプラリー	【目的】 両劇場の観劇者の増加、リピーターの確保を目指す。 【内容】 両劇場で人形劇公演の観劇時にスタンプを押す。観劇回数に応じて、ボランティアの協力を得て制作した指人形をプレゼントする。 【対象】 幼児～一般 【人数】 公演来場者数相当	【R7年度実績予測】	
			通年	6,000枚
			【R8年度】	
			通年	7,500枚

キ 中島児童会館との一体運営の中で生まれる施設づくり

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
1	かもくま祭×あそびのフェスティバル	【目的】 こぐま座50周年を祝い、中島児童会館と協働で地域団体等と連携を図りながら歴史的・文化的価値と両施設が併設されていることの意義についてPRを図る。 【内容】 屋外ステージでの人形劇・パフォーマー・専門アーティストによる連続公演、昔あそび体験、ゲーム、工作、地域団体等による出店等を実施する。 【対象】 幼児～一般 【人数】 1,500名	【R7年度実績予測】	
			7月	2日間
			【R8年度】	
2	中島児童会館・こぐま座資料室「MA・SO・BO」	【目的】 歴史的価値の高い中島児童会館とこぐま座が連携し、子どもの健全育成を図る中心拠点としてこども文化の重要性を発信する。 【内容】 ①資料室MA・SO・BOの企画・運営②企画展示（657美術館）、ワークショップ等の実施③「MA・SO・BO通信」発行等 【対象】 幼児～一般 【人数】 来館者数相当	【R7年度実績予測】	
			通年	①通年 ②4回 ③年6回
			【R8年度】	

			通年	①通年 ②4回 ③年6回
3	こどものまなび塾	【目的】児童文化に関わる外部講師を招へいし、子どもたちに関わる人材の育成を図る。将来的には修了者をあそびのサークル、地域や児童会館でのボランティア活動につなげていくことを目標とする。 【内容】あそびのプログラムによるボランティア養成講座を実施する。 【対象】18歳以上 【人数】15名	【R7年度実績予測】 7月～10月	16回
			【R8年度】 6月～10月	12回
4	ゆきあかりフェスティバル	【目的】雪まつり期間中に開催される事業として、中島公園や地域団体との連携強化と観光振興を目的に全市的なイベントの一環として実施する。 【内容】人形劇・パフォーマンスステージ、ミニ雪像・スノーキャンドルづくり体験、体験ワークショップ等を実施する。 【対象】幼児～一般 【人数】1,200名	【R7年度実績予測】 2月	2日間
			【R8年度】 2月	2日間

(2) 子どもに関わる舞台活動の拡充に関する情報の収集・調査研究・立案及び提供に関する業務
ア 情報の収集・調査研究・立案の計画

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
1	アンケート調査	【目的】施設利用時の総合的な評価を知り、今後の施設運営に反映させる。また、「公演で見てみたい演目」「参加してみたい事業」「施設への要望」等のニーズ調査も兼ねる。 【内容】施設利用者（公演観覧者・劇団・主催事業参加者）に、劇場利用に関するアンケート調査を行う。 【対象】施設利用者 【人数】・公演観覧者1,200人以上・劇団20人（団体）以上・主催事業のうち、各種講座や舞台に関する体験プログラム等の参加者	【R7年度実績予測】	
			通年	-
			【R8年度】	
			通年	-
2	運営協議会	【目的】施設管理運営水準の維持向上を図る。 【内容】両劇場の管理運営水準の維持向上を図るため、運営協議会を設置し、管理業務の状況報告や協議を行うとともに、様々な意見を伺う機会とする。 【対象】運営協議会委員 【人数】委員5名、施設所管課（札幌市）、劇場職員	【R7年度実績予測】	
			10月・3月	2回
			【R8年度】	
			10月・2月	2回
3	利用者説明会	【目的】各団体による利用手続きの円滑化を図る。	【R7年度実績予測】	

		同時に、各劇団からの近況報告や周知の場も設定し、劇団同士の交流の場とする。 【内容】ホールをはじめとする貸室等の施設利用等の説明及び周知を行う。 ・劇場使用に関する説明 ・各劇団からの近況報告、事業周知 ・次年度のホール利用調整 【対象】利用実績（概ね3年以内）がある劇団 【人数】20団体程度	12月・3月	各劇場1回
			【R8年度】	
			12月・3月	各劇場1回

イ情報の提供

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
1	「こどもの劇場通信」発行	【目的】やまびこ座・こぐま座両劇場の公演・事業等を紹介するリーフレットを定期的に発行し、広く市民にPRを行う。 【内容】リーフレット発行（年6回、発行部数8,000部） 【対象】公演観覧者、各劇場利用者、札幌市内公共施設及び児童会館、幼稚園・保育園・認定こども園、関係団体等	【R7年度実績予測】	
			通年	年6回
			【R8年度】	
2	やまびこ座・こぐま座SNS通信	【目的】観劇者、事業参加者の増加をねらい、Instagram、LINE公式アカウントからプッシュ型の情報提供を行う。公演情報等を市民が受け取りやすくすることで劇場をより身近に感じてもらい、観劇や事業参加意欲につなげることを目指す。 【内容】公演情報・講座案内の配信を行う。 【対象】Instagramアカウント保持者、LINE公式アカウント登録者	【R7年度実績予測】	
			通年	500件 年120回
			【R8年度】	
			通年	500件 年120回

(3) 劇団育成支援に関する業務

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
1	劇団育成支援事業	【目的】やまびこ座・こぐま座を利用する劇団の育成支援を行い、劇団活動の活性化に結びつける。 【内容】①貸室利用料金の一部負担②機材貸出（有料）等 【対象】やまびこ座・こぐま座を利用する劇団	【R7年度実績予測】	
			通年	①650件 ②20件
			【R8年度】	
			通年	①700件 ②25件

(4) 人形劇等の制作に必要な知識及び技術の習得等に関する指導・助言・相談業務

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
1	やまびこ座・こぐま座「ヤッホーの会」	【目的】市民参加型の会員募集により、集客増と文化芸術活動の活性化を図り、より市民に親しまれる劇場づくりを目指す。 【内容】ヤッホーの会会員募集、会員特典の付与（観覧割引優待等） 【対象】子ども～大人 【人数】60名程度	【R7年度実績予測】	
			通年	23件
			【R8年度】	
			通年	60件
2	こぐま座50周年記念寄付事業（こども基金 さっぽろスマイルキッズ）	【目的】こぐま座は全国初の公立人形劇場として1976年に誕生し、令和8年度50周年を迎える。記念寄附事業として活動に賛同してくださる全国の劇団関係者等に広く寄付を募り、記念事業の充実に役立てる。 【内容】個人1口5,000円、団体1口 30,000円（こども基金さっぽろスマイルキッズ） 【対象】劇団関係者及び企業 ※目標額1,500,000円	【R7年度実績予測】	
			通年	個人8件 企業2件
			【R8年度】	
			通年	個人60件 団体40件